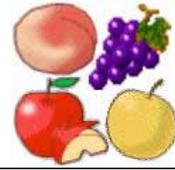


平成23年度 果樹情報 第3号

(平成23年5月6日)



福島県農林水産部研究技術室

- 1 気象概況（農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という））
4月下旬の平均気温は、5半旬が9.9 で平年より3.0 低く、6半旬が13.1 で平年より0.7 低く経過しました。この期間の降水量は33.5mmで平年の121%でした。
- 2 土壌の水分状況
果樹研究所のリンゴ園（草生栽培：無かん水）における土壌pF値は、5月1日現在、深さ20cmが1.9、深さ40cmが1.7、深さ60cmが1.8で、適湿の範囲となっています。
- 3 発育状況
 - (1) モモの満開は、「あかつき」「ゆうぞら」とともに4月27日で、いずれも平年より6日遅れとなりました。
 - (2) ナシの満開は、「幸水」が5月2日で平年より5日遅れ、「豊水」は4月28日で平年より4日遅れとなりました。
 - (3) リンゴの開花始めは、「つがる」が5月1日で平年より5日遅れ、「ふじ」が5月1日で平年より4日遅れとなりました。
 - (4) オウトウの満開は、「佐藤錦」が4月30日で平年より5日遅れとなりました。
 - (5) ブドウの展葉は、「巨峰」が4月30日で平年より5日遅れとなりました。

表1 開花状況（果樹研究所）

樹種	品種	開花始め			満開		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	4月18日	4月15日	4月18日	4月27日	4月21日	4月25日
	ゆうぞら	4月18日	4月16日	4月19日	4月27日	4月21日	4月26日
ナシ	幸水	4月25日	4月23日	4月29日	5月2日	4月27日	5月5日
	豊水	4月20日	4月19日	4月25日	4月28日	4月24日	5月2日
リンゴ	つがる	5月1日	4月26日	5月4日	未	5月1日	5月6日
	ふじ	5月1日	4月27日	5月3日	未	5月1日	5月5日
オウトウ	佐藤錦	4月25日	4月19日	4月29日	4月30日	4月25日	5月3日

注) 平年値は、1981～2010年の平均値。

表2 発芽・展葉状況（果樹研究所）

樹種	品種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
ブドウ	巨峰	4月19日	4月19日	4月20日	4月30日	4月25日	5月3日

注) 平年値は、1981～2010年の平均値。

4 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性の低下が著しく、凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底してください。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉の徹底により結実確保を図りましょう。

また、以下のホームページに「凍霜害等気象災害防止対策について」、「果樹の生育ステージと防霜対策のための温度指標」を掲載しておりますので、参照してください。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gijyutsufukyu/seiikugijyutsujyohou.html#tokubetsujyohou>

(2) 人工受粉

開花期が低温や強風、乾燥条件で経過すると結実が劣る傾向があります。特に、低温条件では訪花昆虫の活動が停滞しやすいので、人工受粉を丁寧に行い、結実の確保を図りましょう。

5 病害虫防除上の留意点

(1) 病 害

ア リンゴ黒星病・うどんこ病

黒星病およびうどんこ病に対しては、開花期前後が重点防除時期となるので、防除を徹底してください。なお、うどんこ病の被害葉叢は、見つけ次第せん除し、適切に処分してください。

イ モモ灰星病

花腐れは果実への伝染源となるので、見つけ次第摘除し、適切に処分してください。

ウ モモせん孔細菌病

昨年秋期の発生を考慮すると、今年は春型枝病斑の発生が多いと考えられます。枝病斑は見つけしだいせん除し、適切に処分してください。また、落花直後、落花10日後の防除を徹底してください。

エ ナシ黒星病

越冬伝染源の密度が高い地域があるので、注意が必要です。落花直後の防除が遅れないように実施してください。また、花叢基部病斑が見られる園では、見つけ次第必ず除去してください。

(2) 虫害

ア モモハモグリガ

今後の気温が平年並みに推移した場合、第1世代の防除適期は5月3日頃と予測されます。初期発生を抑えるため、落花10日後の防除を徹底してください。

イ ハマキムシ類

今後の気温が平年並みに推移した場合、リンゴモンハマキ越冬世代成虫の誘殺盛期は5月5半旬と予測されます。複合交信かく乱剤は、ハマキムシ類越冬世代成虫の発生前である5月3半旬頃までに設置してください。

ウ その他鱗翅目害虫

ナシヒメシンクイの防除適期は、5月1半旬～5月2半旬と推察されます。ミツバチ等を導入している園では、巣箱を回収後、速やかに防除を行いましょう。

エ リンゴハダニ

今後、気温が平年並みに推移した場合、リンゴハダニのふ化盛期は5月1半旬頃であると予測されます。越冬卵密度の高い園では、落花期以降の発生密度に注意し、要防除水準(1葉当り雌成虫1頭以上)に達したら防除を実施しましょう。

オ カメムシ類

カメムシ類(クサギカメムシ)の越冬世代成虫による加害は、果実がごく小さいうちから発生する場合があります。特に、山間部や山沿いの果樹園では、カメムシ類の飛来状況をよく観察し、集団的な飛来を確認した場合には速やかに防除を行いましょう。

表3 主要害虫に対する防除時期の推定(果樹研究所 平成23年5月1日現在)

今後の気温予測	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ	
	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期
2 高い		5月3日	5月18日	5月31日
平年並み		5月3日	5月23日	6月6日
2 低い		5月5日	5月29日	6月14日

注) 起算日: 3月1日